

令和元年度 公益財団法人日立市公園協会 事業報告

本協会は、従来から引き続き、「日立市かみね公園」内の「ゆうえんち」及び「レジャーランド」の遊戯施設運行、飲食及び販売事業の展開のほか、来園者に「かみね公園」の四季折々の魅力を楽しんでいただくために、年間を通して季節に応じた様々なイベント等を開催しています。

合わせて、日立市が設置した観光レクリエーション施設である「奥日立きららの里」、健康増進施設である「日立市ホリゾンかみね」及び「日立市かみね市民プール」の指定管理者として適正かつ効率的な管理運営を行っています。

本協会は、これら5つの施設運営等を通し、日立市民はもとより、市外・県外からの多くの来園者に憩いの場を提供することにより、福祉の増進と地域活性化に寄与すべく努めています。

令和元年度は、事業計画に基づく安全衛生管理の徹底を最優先に位置づけ、諸施設の安全確保を図るための修繕整備のほか、来園者に対するサービスや接遇の向上に努めるとともに、各種イベントの開催や広報宣伝活動等の諸事業を展開してまいりました。

令和元年12月に、中国武漢市で最初の症例が確認されて以降、新型コロナウイルス感染症が全世界へ爆発的に拡大しました。本協会も本年3月に入り、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から、来園する方の安全を考慮して、各施設におけるイベントの一部を中止するとともに、屋内施設を休業するなど規模を縮小して事業活動を行ってまいりました。各施設の経営状況は、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、「奥日立きららの里」、「ホリゾンかみね」及び「かみね市民プール」の利用者及び事業収入は前年度より減少する一方、「ゆうえんち」及び「レジャーランド」については、ゴールデンウィーク期間が例年より長く、天候に恵まれたことなどもあり、利用者、事業収入とも増加しました。今年度の経営状況を総体的に見ますと、上期は順調に利用者数が伸びたことに加え、常に収支状況を的確に捉えながら健全経営に努めた結果、利用者及び事業収入も前年度を上回ることができました。

I 事業内容

1 公益目的事業【市民福祉事業】

かみね公園内に立地する「レジャーランド」及び「ゆうえんち」、さらには日立市から受託している「奥日立きららの里」、「日立市ホリゾンかみね」及び「日立市かみね市民プール」の管理運営事業のほか、魅力あるイベントの開催や自主事業として各種教室等を展開するなど、利用者に満足していただけるサービスの提供に努めました。

(1) かみね公園の事業

ア かみね公園全般の事業

公園内で各種催事を開催しましたが、開催に当たりましては日立市や関係団体との連携を密にして、諸事業を展開しました。

代表的な催事として、日本のさくら名所百選に選定されているかみね公園と平和通りを中心に開催しました「第 57 回日立さくらまつり」におきましては、かみね公園会場の運営の一部を担いました。開催期間中は、協力事業として桜のライトアップのほか、レジャーランドにおいてのキャラクターショーやのりもの乗り放題デー等を開催しました。

また、来園者が最も多く見込めるゴールデンウィーク期間には、「かみね公園ちびっこまつり」を開催し、レジャーランド内において各種イベントを実施しました。合わせて、園内無料シャトルバスの運行や交通誘導警備員を配置し、来園者の利便と混雑防止を図りました。

さらに、日立市の夏の風物詩であり 62 回目の開催となる「日立あんどんまつり」におきましては、園内をライトアップし、市内の子どもを中心とした子どもあんどん絵画コンテスト(236 点の応募)、新たに敬老の部あんどん絵画作品展(18 点の応募)を実施しました。また、日立市かみね動物園との連携により、来園者により楽しんでいただくために「夜

の動物園」の開催に合わせ、レジャーランドとゆうえんちの夜間営業や各種イベントを実施しました。

その他、「かみね公園秋まつり」や「かみね公園正月まつり」など、年間を通して各種イベントを開催することにより、公園全体の魅力づくりを図りながら憩いの場の提供や市内の賑わいづくりに努めました。

イ レジャーランドの事業

「レジャーランド」は、ジェットコースターや大観覧車等の大型遊戯施設を有する遊園地であり、主なイベントとして低廉な料金でのりもの利用できる乗り放題デー、子どもたちが楽しみにしているキャラクターショー(年間11回開催)を開催しました。

また、入園無料期間は、慣例に従い6月と2月に実施しましたが、いきいき茨城ゆめ国体の開催に合わせ9月と10月も入園無料としたことにより、来園者の増加につながりました。

さらに、かみね公園から眺める夜景が「日本夜景遺産」に認定されたことを記念して、2月の週末限定ではありますが、試行的に大観覧車を運行し、市街地の夜景を堪能していただく機会を設けました。

以上のように、各種イベントの開催や大型遊戯施設を備える遊園地の運営を通し、地域住民等に娯楽と潤いのある生活を享受していただけるよう、より親しまれる施設づくりに努めました。

なお、春の行楽シーズン後に環境美化等を加味した管理棟の塗装等工事を、冬の閑散期には、安全性に配慮して経年劣化した大観覧車のゴンドラ交換等工事を実施しました。

ウ ゆうえんちの事業

「ゆうえんち」は、動物園に併設されており、比較的low年齢層の来園者が多い施設です。開催するイベントも利用者層に合わせた3世代ファミリー無料乗車券のプレゼント、七五三時期の千歳飴プレゼント、動物園

とタイアップしたカブト虫やクワガタなどの身近な生き物の展示をしたほか、ハロウィンイベント、冬の動物園&ゆうえんちまつり等を開催しました。

「ゆうえんち」の運営に当たりましては、来園した幼児・児童等が家族や友だちとのふれあいや思い出づくりの機会を提供することを主眼としており、子どもたちの健全な成長に寄与するとともに、合わせて春秋の遠足シーズンには、子どもたちに校外学習の場を提供し、教育の一端も担いました。

なお、冬の閑散期には、環境美化等を考慮して、動物園内の便益施設として運営しているかばさんハウスの屋根及び外装の塗装工事を実施しました。

(2) 受託事業

「奥日立きららの里」、「日立市ホリゾンかみね」及び「日立市かみね市民プール」の3施設は、平成18年度から日立市から指定された指定管理者として、継続的に管理運営を担っています。令和元年度は指定期間3年の2年目ですが、引き続き日立市の意向を十分に踏まえ、諸施設の特性を活かした諸事業を展開し、利用者増を図るとともに、安全かつ効率的な管理運営に努めました。

ア 奥日立きららの里の事業

「奥日立きららの里」は、利用者の健康の増進と山村地域の振興に寄与するという施設の目的を踏まえて、市内外の方々に自然に親しみ、自然とふれあう場として広く利用していただけるよう、施設の管理を行いました。施設の特性を活かして、春まつり、秋まつり、世界のクワガタ・カブトムシ展、ホテル観賞会やレクリエーション大会など1年を通して各種イベントを開催しました。

本年度の入場者数は、ゴールデンウィークは増加しましたが、春まつりや秋まつり等の入場者が多く見込めるイベント時に、天候が不順であったことなどの影響により、前年度より減少しました。

イ 日立市ホリゾンかみねの事業

「日立市ホリゾンかみね」は、市民の研修、教養及び余暇活動施設として市民の余暇活動の充実及び福祉の増進を図るという目的を踏まえて、管理運営を行いました。施設内にトレーニングルームや浴室を備えていることから、それらを活用した自主事業としてエアロビクス教室や各種体操教室等を開催しました。

また、1階ロビーの一部をギャラリーとして市民に開放し、写真展、魚拓展や押し花絵展等を開催しました。

本年度の利用者数は、2月までは前年度を上回っていましたが、3月上旬からは、新型コロナウイルス感染症の影響により、トレーニングルームや浴室を有する地階施設の営業を中止したため、前年度より減少しました。

ウ 日立市かみね市民プールの事業

「日立市かみね市民プール」は、市民の体位向上及びレクリエーションの場として市民の心身の健全な発達及び福祉の増進を図るという施設の目的を踏まえて、管理運営を行いました。市民プールにおいては、自主事業として水泳教室、水中エアロビクス教室及び水中ウォーキング教室を開催し、利用者増に努めました。

本年度の利用者数は、日立市ホリゾンかみねと同様に2月までは前年度を上回っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、3月上旬から休館したため、前年度より減少しました。

2 収益事業【販売事業】

かみね公園内及び奥日立きららの里内等における便益事業として、物品販売や出店等を行い、公共の福祉増進に寄与する活動を行うための資金確保に努めました。

(1) 施設内販売事業及び出店事業

施設内販売事業においては、収益増を図るための売れ筋商品の調査研究を行い、積極的に新規メニュー及びオリジナルメニューの開発を行うとともに、季節ごとのメニューの追加を実施しました。

出店事業においては、各種イベント開催時における日立市池の川運動公園売店に加え、本年度は、いきいき茨城ゆめ国体日立会場等の出店を行い収益を確保しました。

(2) カーニバルコーナー運営事業

レジャーランド内において、比較的大型のゲーム機を設置し、コーナーを設けて運営しました。利用料金は100円から200円で、各々のゲーム機による得点に応じ、ぬいぐるみ等の景品を提供しました。

(3) プレイランド運営事業

レジャーランド内において、100円から200円の投入式ゲーム機及び定置式のりものを設置したゲームコーナーを設けて運営しました。

II 管理施設の利用状況及び売上実績

1 利用状況

(1) かみね公園

(単位：人)

区分	遊園地	レジャーランド	市民プール	ホリゾン	合計
元年度	358,725	65,715	63,784	61,127	549,351
30年度	345,148	59,420	65,617	61,992	532,177
増減	13,577	6,295	△ 1,833	△ 865	17,174

※ 遊園地利用者数は、動物園利用者数

(2) きららの里

(単位：人)

元年度	64,757
30年度	65,361
増減	△ 604